

経営比較分析表（令和2年度決算）

愛媛県 愛南町

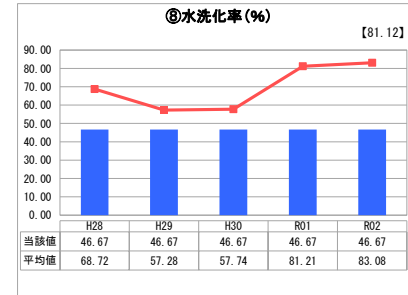
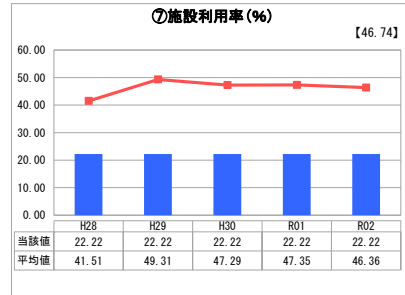
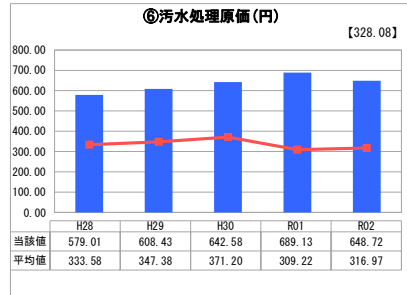
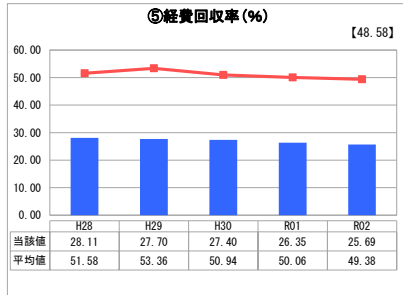
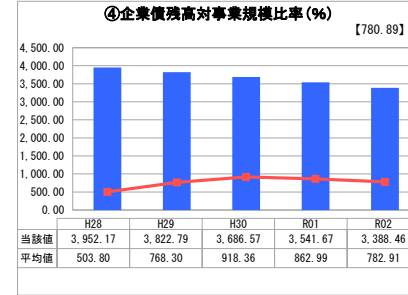
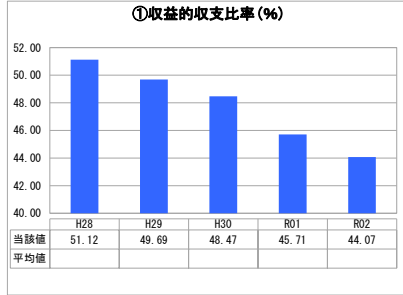
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.07	100.00	2,620

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,495	238.99	85.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15	0.04	375.00

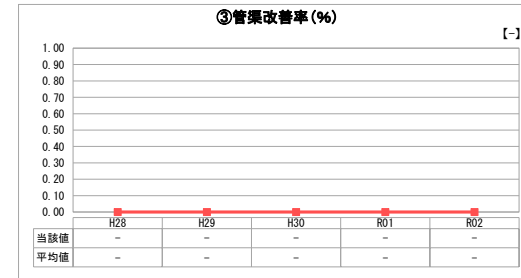
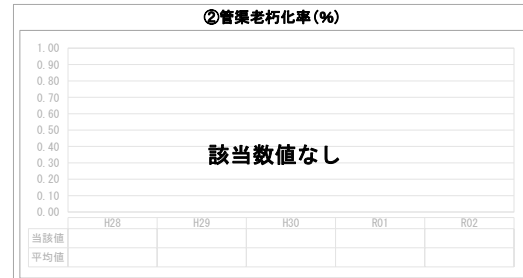
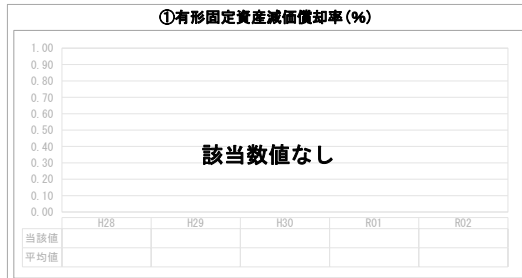
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・本事業は、処理区域件数6戸、処理区域人口15人と小規模なものである。
 ・収益的収支比率については、近年は右肩下がりであり、昨年度は過去5年間で最も低くなっている。要因としては、有収水量の減少及び諸経費の増加によるものと考えられる。
 ・経費回収率については、類似団体平均49.38%に対し25.69%と低く、収益については、使用料以外の収入に依存しており、経営の効率性を低下させている。
 ・汚水処理原価については、類似団体と比較すると非常に高い数値を示しており、今後の維持管理費削減や接続率向上等の対策が必要である。
 ・施設利用率については、平成28年度以降は22.22%と類似団体平均の半分程度となっている。
 ・水洗化率については、近年、数値の変動が見られない。対象戸数が少ないことや世帯異動のない地域であることが要因であると考えられるが、類似団体平均と比較しても低く推移していることから、今後の水洗化普及促進の強化が必要である。

2. 老朽化の状況について

本町の個別排水処理施設は、供用開始から17年が経過し、近年は浄化槽送風機等、機械類の修繕が増加傾向にある。今後も機械類を含め躯体の修繕が発生することが予想され、これらの費用確保が懸念される。（浄化槽の耐用年数については、国土交通省・農林水産省・環境省が策定したマニュアルより、機械類：7～15年とされている。）

全体総括

1. 経営の健全性・効率性について分析した結果、本町においては、収益的収支比率及び経費回収率に表れているように、収益が使用料以外の収入に依存している。そのため、適切な使用料への見直しや、水洗化の普及促進により利用率を高め、有収水量の増加による使用料収入の確保を図ることが必要である。また、本事業は、経営が非常に小規模であり、処理区域内人口及び件数も少ないことから、水洗化率向上を目指し、施設の普及促進を行うなどして経営改善に努める。整備した施設が現状では適切な水準の料金収入に結びついていないため、運営体制や今後の投資のあり方を見直す必要がある。

2. 老朽化の状況について、近年は機械類の修繕が増加傾向にあり、収益を圧迫していることから、計画的な施設の更新を実施することで、単年度費用を減らし、経営改善を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。